

2022年度 大学間短期交換留学（派遣） [第1回募集] 募集要項

琉球大学(以下「本学」という。)では、「国際交流の推進」を基本理念の一つとして、海外の大学等との教育・研究交流を推進しており、2021年8月13日現在42か国・地域の130大学・機関と国際交流協定を締結している。これらの協定大学のうち37か国・地域の105大学とは「学生交流協定(覚書)」を併せて締結している(部局間学生交流協定校含む)。大学間短期交換留学(派遣)プログラムとは、この「学生交流協定(覚書)」に基づいて、本学に在籍したまま海外の大学間学生交流協定校へ留学するプログラムである。

また、本学は、ISEP(International Student Exchange Programs)及びUMAP(University Mobility in Asia and the Pacific)加盟大学への短期交換留学制度も実施しており、本募集では、UMAPによる短期交換留学についても同時に募集を行う。

なお、2022年度は、ISEP(International Student Exchange Programs)による短期交換留学については募集しない。(交流バランス調整のため)

<新型コロナウイルス感染症による影響について>

本募集の申請・選考を経て交換留学推薦枠を獲得した場合でも、派遣先国・地域の感染状況や、派遣先国・地域または協定校等の決定によっては、交換留学開始時期の延期、留学期間の短縮又は派遣中止の可能性のあることを念頭に申請すること。

1 応募資格

次に掲げる全てに該当する者を対象とする。

- (1) 応募時に本学学部又は大学院の正規課程に在籍しており、派遣期間開始学期から終了学期までの期間を通して本学学部又は大学院の正規課程に在学(休学等をしていない)する者
- (2) 派遣開始時において、正規課程に在籍する学部2年次以上(大学院生を含む)である者。
ただし、後学期期末試験を終了し、学業に支障がない場合は、学部1年次においても派遣可能とする。
- (3) 学業成績が優秀で、人格等に優れている者
- (4) 留学の目的及び計画が明確で、派遣先大学への留学による効果が期待できる者
- (5) 留学期間終了後、本学に戻り、学業を継続する者又は本学の学位を取得する者
- (6) 派遣先大学所在国への留学に必要な査証を確実に取得し得る者
- (7) 派遣先大学が定める入学基準及び語学基準を有する者
- (8) 本学の正規学生であれば国籍を問わない。ただし、外国籍の者が母国へ留学することは不可とするが、在留資格が「永住者・特別永住者」の者についてはその限りではない。

2 募集対象の派遣先大学及び派遣人数上限

P7~P11に記載の「大学間等学生交流協定(覚書) 締結校別募集対象人数一覧」で確認すること。部局間交流協定校への留学希望がある学部等学生は、所属する学部の事務室(学務係)に問い合わせること。但し、部局間交流協定のうち、本学国際教育センターと学生交流協定を締結している協定校に限り、全学部・研究科所属の学生を募集対象とする。

3 派遣期間

1学期間又は1年間

但し、派遣留学決定後に派遣先大学が指定する入学手続き期限までに入学手続きを完了することが可能である学期で、**20242023**年3月までに派遣が開始される留学を対象とする。具体的な派遣開始可能時期については、希望派遣先大学を特定した上で必ず本件担当に確認をすること。

4 派遣先大学における身分

非正規生（特別聴講学生、特別研究生等）

5 授業料等

学生交流協定に基づき授業料不徴収となり、派遣先大学の検定料、入学料及び授業料が免除される。但し、留学期間中も本学に在籍している状態にあるため、本学の授業料は納入しなければならない。

6 単位互換

短期交換留学（派遣）プログラムにおける留学は、語学留学と異なり、派遣先大学において専門分野の教育や研究指導を受けることになる。派遣先大学で取得した単位は、帰国後本学において所属学部・研究科の承認が得られれば、卒業・修了要件の単位として認定される。単位認定可能な科目等は各学部・研究科によって異なるため、派遣希望の協定大学で提供されている授業科目等について、各大学公式Webサイト等で情報収集し、学習計画について事前に指導教員や所属学部事務室（学務係）と相談すること。所属学部等に単位互換の申請をする際には、派遣先大学が発行した成績証明書とシラバス等が必要となるため、詳細は所属学部事務室（学務係）に確認しておくこと。

7 事前登録

申請希望者は、**2021年11月15日（月）正午まで**に以下のURLの事前登録フォームに大学のメールアドレス「*****@cs.u-ryukyu.ac.jp」でログインし、指定された情報を入力すること。

<https://forms.office.com/r/chayxQvAVH>

8 提出書類

募集要項及び様式類は以下のURLからダウンロードすること

<https://ges.skr.u-ryukyu.ac.jp/study-abroad/public-offering/2022haken1/>

①短期交換留学（派遣）申請書（別紙様式1）

※第2希望がある場合は、まとめて記入すること

②短期交換留学派遣候補者推薦書（別紙様式2）

※推薦書は指導教員等、申請者の留学意欲等についてよく知る本学常勤教員が作成し、学業成績が優秀で、派遣先大学における学修・研究活動上、十分な語学力を備えていることなどを明記すること。

※提出方法は、作成者において厳封の上、申請者により提出、又はメール等にて作成者から国際教育課（outbound@acs.u-ryukyu.ac.jp）に直接提出すること。（メール提出の場合は、押印した原本のスキャンデータを提出。原本の提出は不要）

③成績表（GPAの記載があるもの。教務情報システムにログインのうえ、印刷すること）

④語学力証明書等

希望派遣先大学が課す基準点に達していること。学部への申請書類提出時に要件を満たした証明書等を提出できない場合は、**2021年11月24日（水）正午まで**に学生部国際教育課に直

接提出すること。上記期限までに派遣先希望大学が課す語学基準を満たす語学試験のスコアシート写しの提出がない者については、面接審査を実施しない。

- 1) 語学要件がある大学に申請する場合：希望派遣先大学が指定するTOEFL/IELTS又は各語学試験スコア等の写し
- 2) 語学要件がない大学に申請する場合：各語学試験スコア等の写し又は希望派遣先大学で専門の講義を受講し、単位を取得するに足りる語学力があることを示す証明書等（本学語学教員による語学力証明（様式任意）等）。

⑤家計基準確認用チェックリスト（奨学金受給希望者のみ）

9 申請書類提出期限

各学部・研究科の提出期限は学部事務室・掲示板等で確認すること。

10 申請書類提出先

- (1) ①～⑤（紙媒体）→ 所属学部等の事務室（学務係）

※②を推薦書作成者が直接国際教育課に提出している場合は学部事務室への提出は不要

- (2) ①ファイル名を「学籍番号_氏名」（例、「192345Z_琉大花子.pdf」）で設定した別紙様式1のPDF形式のデータを**2021年11月19日（金）正午**までに以下のURL申請書提出フォームに大学のメールアドレス「*****@cs.u-ryukyu.ac.jp」でログインし、アップロードすること。

<https://forms.office.com/r/7ELmasQ88P>

11 選考

要件を具備した申請書類全てを提出期限までに提出した者について、書面審査及び面接審査（日本語及び希望派遣先大学等で修学上必要な外国語）を実施する。

12 面接審査

日 時：①英語圏・フランス語圏・スペイン語圏派遣希望者

2021年12月1日（水）（予定。変更の可能性有）

②中国語圏・韓国語圏・ドイツ語圏派遣希望者

2021年12月6日（月）～10日（金）の期間で調整中（予定。変更の可能性有）

（面接審査対象者1名あたり10分程度）

最終的な面接日時及び面接方法は2021年11月25日（木）以降個別に連絡する。

場 所：琉球大学 地域国際学習センター（放送大学入居ビル）1階又は2階（予定）

その他：面接日時は、応募人数等によって変更する場合があります、その場合は個別に日程変更を通知する。また、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によってはオンライン面接になる可能性があり、面接方法については面接日時、会場と合わせて通知する。

13 選考結果の通知

選考結果は、2022年1月下旬に所属学部等を通じて通知する。選考結果は、書類審査及び面接審査の結果を踏まえた総合的な判断に基づくものであり、採否結果以外（不採用になった理由等）は公表しない。

1.4 事前研修

短期交換留学生として採用された場合、2022年2月中旬以降に予定されている事前研修に必ず参加すること。事前研修が補講等の講義日程と同日となる場合、別途日程調整するが、無断で欠席した場合や事前研修全日程に参加しない採用者については、採用を取り消すこととする。但し、新型コロナウイルス感染症の流行状況によってはオンライン研修になる、あるいは研修日程が変更する可能性があり、研修方法及び日程等については、選考結果通知後に国際教育課担当から詳細を連絡する。

事前研修内容（予定）：

- BEVI-Jの受験
- 沖縄と日本の歴史・文化
- 安全危機管理セミナー
- グローバル人材とは
- 派遣先国・大学の事前調査
- 短期交換留学制度の仕組み
- 琉球大学紹介プレゼン作成・発表
- 学生メンターとの交流
- 留学計画の確認、留学目標設定

1.5 中間報告

派遣先大学における派遣期間中、以下について中間報告を提出する。報告等の依頼を受けた際は、適切に対応すること。

- (1) 渡航後3か月経過頃 BEVI-J の再受験
- (2) 事前研修で設定した現地での活動計画の進捗
- (3) 事前研修で設定した留学目標の達成度についての自己評価
- (4) アンバサダー活動とSNS発信の状況

1.6 事後研修

短期交換留学終了時期に合わせて、以下の事後研修を実施する。①～④については、帰国時期に合わせて日程調整する。日程調整に対応し、必ず参加・実施すること。

- (1) 事後研修①：現地での活動と留学目標の達成について、振り返りと BEVI-J の再受験
- (2) 事後研修②：BEVI-J Follow-up Session、留学体験発表用プレゼンテーションの作成
- (3) 事後研修③：学内募集説明会、Study Abroad Fair への参加
- (4) 事後研修④：次期派遣学生の前研修に学生メンターとして参加
- (5) 事後研修⑤：次期派遣学生の前・事後、派遣期間中を学生メンターとしてサポート

1.7 採用後の手続きと留意事項

(1) 学内選考に合格し、協定大学への留学が承認された場合、引き続き派遣先大学への入学申請手続きを進める。

※派遣先大学への入学申請は、学生部国際教育課を通じて行うため、申請書類等は派遣先大学が示す申請期限の3週間前を目安に本件担当宛てに提出すること。

※申請書類の中に、英文成績証明書や指導教員等による推薦書、英文による金融機関等残高証明書がある場合は、交付に時間を要することが多いため、特に留意すること。

(2) 派遣先大学における入学審査を通過し、入学許可書を受領してはじめて派遣留学が最終決定する。学内選考合格＝派遣留学決定でないことに留意すること。

- (3) 派遣留学が決定した学生は、本学が契約する「海外派遣学生向け安全管理アシスタンスサービス [OSSMA]」に必ず加入すること。同サービス加入に際して、派遣期間に応じた個人会費（税込費用目安：10,800円/3か月～29,160円/12か月）の負担が必要となる。加入手続き等については、派遣留学が決定した学生に別途通知する。
- (4) 学生寮に居住している者は、必ず学生寮事務室に届け出て、所定の手続きをすること。交換留学の場合、寄宿料を納入する限りにおいて、居室を確保したまま留学することができる。
- (5) 独立行政法人日本学生支援機構（以下「JASSO」とする）の奨学金等や授業料免除を受けている者は、必ず学生支援課窓口に届け出て、所定の手続きをすること。
- (6) その他地方自治体・企業・団体等による奨学金制度の支援を受けている者又は新たに応募を検討している者は、必ず本件担当及び学生支援課奨学係まで報告すること。

1.8 奨学金制度

留学先での経済的支援として、下記の給付型（返済不要）奨学金制度に申請することができる。また、学外の奨学金受給者は、本学における派遣推薦決定者の中から大学が受給候補者を推薦し、各実施機関が決定するため、採否通知は、派遣推薦者の決定通知より後となる場合がある。2021年度の奨学金概要は、以下のとおりであるが、新型コロナウイルス感染症の影響で今後支援内容が変更される可能性があることに留意すること。

その他、民間奨学金の募集については、随時教務情報システムや国際教育課 HP 等にて周知する。

- (1) JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）
 - 支援額：奨学金月額6万円～8万円（派遣先国・地域によって異なる）、
 - 支援期間：最長12月
 - 支援人数：未定（派遣先国・地域によって異なる）
- (2) JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）（重点政策枠）
 - （ハワイ・グアム・パラオ・マーシャル・ミクロネシア派遣対象）
 - 支援額：奨学金月額6万円～8万円（派遣先国・地域によって異なる）、
 - 支援期間：最長12月
 - 支援人数：未定
 - ※琉球大学が採択された世界展開力強化事業「COIL型教育を活用した太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成」事業の一環として支援するもの。採択学生は、支援を希望する場合は、必要に応じて事前に国際教育課まで支援のための要件を確認すること。
- (3) 琉球大学岸本基金寄附金人材育成支援事業 海外留学支援制度（協定派遣）奨学金（欧州・米国派遣対象）
 - 支援額：奨学金月額12万円、留学準備金24万円
 - 支援期間：最長12月
 - 支援人数：年間2人程度
- (4) 琉球大学QUEST基金 短期交換留学（協定派遣）奨学金
 - 支援額：奨学金月額6万円～8万円（派遣先国・地域によって異なる）、
 - 留学準備金16万円（家計基準あり）
 - 支援期間：最長11月
 - 支援人数：年間35人程度
- (5) 公益財団法人琉球大学後援財団国際交流奨励事業「留学生派遣奨励金」

支 援 額：奨学金月額6万円
支援期間：最長10月
支援人数：年間2人

19 帰国後の学習計画・進路

- (1) 復学手続き、単位互換申請期限、卒業年月に十分注意する。特に教職希望者は、教育実習や採用試験、卒業予定日について、指導教員等と事前に相談すること。
- (2) 帰国後は、留学報告書、アンケート等の提出、進路調査（進学・就職）、留学促進のためのイベント、本学印刷物（大学案内等）作成への協力依頼があった場合は、学業等に支障が無い範囲で可能な限り協力すること。

20 問い合わせ先

短期交換留学（派遣）プログラム及び本募集要項について、不明な点がある場合は、下記担当に問い合わせること。

<本件担当>

学生部 国際教育課 留学交流係 村山

TEL: 098-895-8761

e-mail: outbound@acs.u-ryukyu.ac.jp

大学間等学生交流協定（覚書）締結校等別募集対象人数一覧

1. 大学間交流協定校のうち、学生交流協定を締結している大学

大学名に*印が付いている大学は、国際教育センター（旧留学生センター）の部局間学生交流協定校であるが、国際教育センターは全学組織のため、大学間交流協定校と同等に派遣学生の公募を行う。本募集要項公開後も、派遣先大学により語学基準や募集する派遣可能人数が変更となる可能性がある。語学基準については、必ず自身で国際教育課や各留学希望大学のHPにて確認すること。（変更があり次第随時更新する）

※TOEFLは、原則、Test Date Scoresが基準を満たしていること（スコアの後に「◆」の記載がある大学のみMyBest Scoresでの申請も可能）

※TOEFLスコアの後に「◎」の記載がある大学については、「TOEFL iBT Home Edition」のスコアでの申請が可能

※語学力証明書については、派遣先大学申請時点で2年以内に取得したスコアである必要があるため、2020年6月以前に取得したスコアの場合は本件担当に確認すること。

※協定校によっては、大学院生を交換留学生として受け入れられない場合があるため、交換留学の可否について予め本件担当に確認の上、応募すること。

※派遣先国・地域または協定校等の決定によっては、交換留学開始時期の延期、留学期間の短縮又は派遣中止の可能性があるので念頭に申請すること。

	国・地域名	大学名	語学基準、その他	今回派遣可能最大人数(予定)
1	台湾	国立台湾大学	中国語B1レベル/英語B1レベル	1
2		国立台湾海洋大学	—	2
3		東海大学	語学力要件は設定していないが、中国語又は英語B2レベル程度の基礎語学力があることが望ましい	5
4		国立中山大学	語学力要件は設定していないが、基礎的な中国語/英語語学力があること	4
5		国立台南大学	語学力要件は設定していないが、講義のほとんどは中国語	3
6		国立澎湖科技大学	語学力要件は設定していないが、中国語または英語で受講できるレベルの語学力証明書(HSK,TOEFL,TOEIC等)が必要	3
7		国立台湾科技大学	英語語学力試験のスコアは設定していないが、講義は中国語又は英語で行うため、受講可能な英語レベルは必要。	1
8		開南大学	—	3
9		台北城市科技大学	工学部以外:要件なし 工学部:基礎的な会話ができる英語力	5
10		中原大学	TOEIC660/HSK Level5	2
11		中国文化大学	中国語のレベル要件:基礎中国語 英語:TOEIC590	3
12		国立東華大学	—	2
13		東呉大学	—	2
14		逢甲大学	中国語による提供科目を受講する場合:HSK Level 6/TOCFL Level5 英語による提供科目を受講する場合:TOEFL iBT70/TOEIC 700 IELTS 4.5	2
15		天主教輔仁大学	中国語による提供科目を受講する場合:新HSK Level 5/TOCFL Level3/台湾における480-960時間又は台湾以外の国における960-1920時間の中国語学習証明書且つ5,000語習得レベルである証明書 英語による提供科目を受講する場合:TOEIC750/TOEFL iBT79/IELTS6.0	1

16		静宜大学	—	1
17		台北医学大学	TOEFL iBT 79/ IELTS 5.5	5
18		国立雲林科技大学*	語学力要件は設定していないが、英語又は中国語B1レベルあることが望ましい	5
19		文藻外語大学*	基礎的な英語又は中国語	2
20	中国	中南林業科技大学	中国語による提供科目を受講する場合、HSK5 英語による提供科目を受講する場合、TOEFL PBT450点、IELTS 5.0	3
21		福建師範大学	—	5
22		雲南農業大学	—	5
23		延邊大学	—	5
24		華中科技大学	TOEFL iBT 80 又は HSK 4相当	2
25		対外経済貿易大学 ※1学期間の派遣のみ	IELTS 6.0/ TOEFL iBT80 又はHSK 3-4 が望ましい ※交換留学生向けの授業は全て英語で提供	1
26		海南大学	—	3
27		大韓民国	啓明大学校	-
28	済州大学校		-	3
29	順天大学校		-	3
30	延世大学校		KLAT/KLPT/TOPIK Level4 TOEFL iBT 79, IELTS 6.5	1
31	ソウル市立大学校		英語又は韓国語での授業参加が可能であること	1
32	木浦大学校		—	1
33	湖西大学校		-	2
34	京畿大学校		韓国語 TOPIK 3 英語による提供科目を受講する場合は英語での受講可能なレベル	2
35	慶熙大学校* (外国語大学)		TOPIK 3	2
36	インドネシア	サムラトランギ大学	確認中	3
37		ボゴール農業大学	確認中	5
38		ディポネゴロ大学	TOEFL ITP 500, IELTS 5.5	3
39	タイ	チュラロンコン大学	IELTS 6.0, TOEFL iBT 79	3
40		タマサート大学	IELTS 5.5-7.0, TOEFL iBT 60-85 ただし、各学部により要件は異なるため、以下を参照のこと。 https://oia.tu.ac.th/index.php?option=com_content&view=article&id=595&Itemid=487	3
41		コンケン大学	英語能力テストあり	3
42		チェンマイ大学	TOEFL iBT61, IELTS 5.0, TOEIC 600	5
43		キングモンクット工科大学ラカバン校	TOEFL PBT500, IELTS 5.5, TOEIC 590	3
44	ラオス	ラオス国立大学	確認中	3
45		ラオス健康科学大学	確認中	3

46	ベトナム	タイグエン大学	ベトナム語, 英語(レベル等は提示なし)	5
47		ハノイ国立教育大学	英語(レベル設定なし)	3
48	米国	ミシガン州立大学	TOEFL iBT 79◎(各セクション 17), IELTS 6.5(各セクション 6.0)	5
49		グアム大学	TOEFL iBT 61, IELTS 5.5	2
50		ハワイ大学マノア校 ※1学期間の派遣のみ	TOEFL iBT 68◆◎ IELTS 6.0	1
51		ハワイ大学ヒロ校	TOEFL iBT 61◎, IELTS 5.5, 英検 2 級 A, Duolingo 90	1
52		ハワイ大学カウアイ・コミュニティ・カレッジ	TOEFL iBT 45◎, IELTS 5.0 英検 2 級, GTEC 946	3
53		ハワイ大学マウイ・カレッジ	TOEFL iBT 61 IELTS 5.5	2
54		ハワイ大学コミュニティ・カレッジズ	キャンパス毎に定められる語学基準を満たしていること <募集対象キャンパス> ハワイ・コミュニティ・カレッジ } ウインドワード・カレッジ } TOEFL iBT61 カピオラニ・コミュニティ・カレッジ } IELTS5.5 リーワード・コミュニティ・カレッジ } 英検2級A マウイ・カレッジ } カウアイ・コミュニティ・カレッジ:No.52を参照のこと ホノルル・コミュニティ・カレッジ:TOEFL iBT32, TOEIC450, 英検 準2級以上, IELTS4.0	3
55		ネヴァダ大学リノ校	学部生:TOEFL iBT 61, IELTS 6.0, PTE 57, Duolingo 95 大学院生については個別に確認すること	2
56	フォートルーイス大学	TOEFL iBT 61◎, IELTS 5.5, Duolingo 85, PTE 44	1	
57	イースタンミシガン大学	TOEFL iBT 61◎, IELTS 6.0, PTE 44, Duolingo 95	5	
58	カリフォルニア大学サンタクルズ校【新規追加】	TOEFL iBT 80, IELTS 6.5	2	
59	カナダ	ニューファンドランド・メモリアル大学	各学部が別に定める必須スコアあり。以下は最低基準点 IELTS 6.5(各セクション 5.5)/TOEFL iBT 79(リスニング 17, ライティング 20, リーディング 20, スピーキング 17)	3
60	ドミニカ共和国	イベロアメリカーナ大学	スペイン語による提供科目を受講する場合は CEFR B2 英語による提供科目を受講する場合は Duolingo 105	3
61	ブラジル	サンパウロ大学	ポルトガル語 B1 レベル	3
62		ブラジリア大学	ポルトガル語 B1 レベル	2
63	アルゼンチン	国立ラプラタ大学	スペイン語中級レベル(SIELE B1 程度)	2
64	ボリビア	サンタクルス・デ・ラ・エラ私立大学	スペイン語による提供科目を受講できるレベル	2
65		ガブリエル・レネ・モレノ国立自治大学【新規追加】	確認中	3

		加】		
66	オーストラリア	ジェームス・クック大学 *(派遣先は文系のみ)	IELTS 6.0 以上(各セクション 5.5) TOEFL iBT 74(各要素:18)	2
67	ニュージーランド	ウエリントン・ヴィクトリア大学*	IELTS 6.0(各セクション 5.5) TOEFL iBT 80	0
68	パプア・ニューギニア	パプア・ニューギニア大学	確認中	3
69	パラオ共和国	パラオ地域短期大学	TOEFL iBT 61	3
70	ミクロネシア連邦	ミクロネシア連邦短期大学	TOEFL iBT61, CBT173, PBT500, IELTS 5.5, TOEIC 590	3
71	マーシャル諸島共和国	マーシャル諸島短期大学	確認中	3
72	サモア独立国	国立サモア大学	確認中	3
73	トンガ王国	アテニシ大学	確認中	3
74	フィジー諸島共和国	南太平洋大学	TOEFL iBT 60(writing22), IELTS 6.0 (writing6.0)	3
75	仏領ニューカレドニア	ニューカレドニア大学	フランス語 B1 レベル	3
76	フランス	リール大学	英語, フランス語どちらか(もしくは両方) B4B2 レベル	2
77		フランス国立高等研究院	確認中	0
78		トゥルーズ・ジャン・ジョレス大学	フランス語 B1 レベルが望ましい。(入学時, 語学テストあり)	2
79		トゥルーズ第一キャピトル大学	フランス語による提供科目を受講する場合: DELF B2, 英語による提供科目を受講する場合: TOEFL iBT79/IELTS 6.0/TOEIC785	5
80	ドイツ	ハインリッヒ・ハイネ・デュッセルドルフ大学	ドイツ語または英語 B1 レベル	2
81	スペイン	ラ・ラゲーナ大学	スペイン語 B1 レベル	2
82		ラス・パルマス・デ・グラン・カナリア大学	スペイン語 B1 レベル	2
83	英国	シェフィールド大学	IELTS 6.0(各セクション 5.5) ただし, ほとんどの学部において IELTS6.5(各セクション 6.0)が求められる。各学部の要件は以下を参照のこと。 https://www.sheffield.ac.uk/undergraduate/apply/english-language#	2
84	ロシア	極東連邦大学	英語による提供科目を受講する場合: TOEFL PBT 500, IELTS 5.0 ロシア語による提供科目を受講する場合: TORFL Level 1	2

2. UMAP (University Mobility in Asia and the Pacific: アジア太平洋大学交流機構) UMAP

(1) 概要

本学では、2020年度第1回募集からUMAP (University Mobility in Asia and the Pacific) 加盟大学への短期交換留学についても募集を開始した。UMAPとは、アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進を目的として1991年(平成3年)に発足した政府および非政府の代表からなるコンソーシアムで、カナダ、メキシコ等19の加盟対象国の加盟大学への留学が可能となっている。加盟各国が連携・協力して交換留学プログラムを運営するとともに、UMAP単位互換方式(UCTS: UMAP Credit Transfer Scheme)に基づく単位互換の普及などにより、アジア太平洋地域における学生等の交流を推進している。

下の表に記載された語学基準は、学内選考に必要な必要最低限の基準である。2021年度第1回募集での申請を希望する場合は、事前にUMAP公式ホームページを確認し、派遣希望先大学の語学基準を満たす語学力スコアを取得できるよう、準備を進めること。

UMAP公式ホームページ: <http://umap.org/>

	大学名	語学基準	今回募集する派遣学生人数
UMAP	UMAP加盟大学(公式HPを確認してください)	TOEFL iBT 60 又は IELTS 5.5	2

(2) UMAPによる短期交換留学に申請する際の留意事項

- (1) 本募集で申請できるUMAPのプログラムは、申請から派遣までの手続きに時間を要するため、各募集期で派遣可能な時期が他の制度と異なっている。申請する際は、派遣可能時期を十分確認すること。
- (2) UMAPにより留学する場合、留学期間中に受講した科目の成績証明書及び単位互換に必要な書類が発行される。
- (3) 学内選考を経てUMAPによる短期交換留学が認められた申請者は、UMAPウェブ申請の際に派遣希望大学を5校選択する。但し、それら5校への派遣は確約されるものではなく、UMAP国際事務局と調整の上、選択した5校以外の大学に配置される場合がある。
- (4) ウェブ申請完了後、派遣先大学の配置情報が届き、配置を了承した申請者は、英語による学習計画書(Study Plan)の提出が必要となる。さらに、派遣先大学が指定する申請書類を作成し、提出期限内に提出することとなる。
- (5) UMAP国際事務局による短期交換留学が確定した申請者は、JASSO海外留学支援制度奨学金(UMAP枠)に申請することが可能である。
- (6) UMAPと本学の学生交流協定校及びISEPへの併願は不可とする。

ISEPにかかる参考情報(2021年度第1回募集時)

※交流バランス調整のため、2022年度は、ISEPによる派遣留学は募集行いません

(1)概要

本学は、短期交換留学（派遣）制度の更なる充実を図るために、2019年4月に ISEP (International Student Exchange Programs) に加盟した。

ISEPは、1979年にワシントン市で設立され、世界各国の加盟校間で学生交換留学を推進する非営利法人で、世界的なネットワークを保有するコンソーシアムです。ISEPに加盟することで、学生交流協定を締結することなく、加盟校間での学生交流が可能となります。ISEP加盟校は、米国本土に約165校、全世界では54カ国300校に広がっており、中南米、欧州及びアフリカなど、本学が協定校を有しない国、地域の加盟校が多数加盟している。

下の表に記載された語学基準は、学内選考に必要な必要最低限の基準であり、各大学毎に語学基準が設定されている。応募を検討している場合は、事前にISEP公式ホームページを確認し、派遣希望先大学の語学基準を満たす語学力スコアを取得できるよう、準備を進めること。

ISEP公式ホームページ：<https://www.isepstudyabroad.org/>

	大学名	語学基準
ISEP	世界各国300校以上のISEP加盟大学	TOEFL iBT 60又はIELTS 5.5

(2) ISEP による短期交換留学に申請する際の留意事項

- (1) 現時点で申請できる ISEP のプログラムは、ISEP Exchange (授業料免除型) のみとする。
- (2) ISEP Exchange (授業料免除型) により留学する場合、以下の支援を受けることができる。
 - ① 宿舍費及び食費 (派遣先大学での宿舍費及び基本的な食費の支払は不要)
 - ② ビザ申請に関するサポート
 - ③ 留学期間中の学習・研究に関する相談窓口
 - ④ 緊急事態における 24 時間サポート
 - ⑤ 派遣先大学におけるオリエンテーション
 - ⑥ 成績証明書及び単位互換に必要な書類発行
- (3) 学内選考を経て ISEP による短期交換留学が認められた申請者は、ISEP ウェブ申請の際に派遣希望大学を10校選択する。但し、それら10校への派遣は確約されるものではなく、ISEP コーディネーターと調整の上、選択した10校以外の大学に配置される場合がある。
- (4) 申請者は、ISEP ウェブ申請時に申請料 100US\$を負担することとなる。本申請料は、留学を取り止めた場合でも返還されない。
- (5) 申請後、5週間以内に ISEP による派遣先大学の配置オファーが届く。当該オファーを受諾する場合、申請者は配置費用として 395US\$を負担する。本配置費用は、留学を取り止めた場合でも返還されない。
- (6) ISEP により留学する場合、月額 95US\$の医療保険料を負担しなければならない。当該医療保険加入により、いずれの ISEP 加盟大学に留学する場合も海外旅行保険への別途加入は不要となる。
- (7) ISEP と本学の学生交流協定校及び UMAP への併願は不可とする。

部局間交流協定校のうち、学生交流協定を締結している大学(参考情報)

部局間交流協定校への交換留学は、各締結学部で募集・選考を行う。詳細は、各学部事務室に問い合わせること。

	国・地域名	大学名	締結学部
1	台湾	国立金門大学(経営学部)	国際地域創造学部
2	中国	広西医科大学	医学部
3		大連工業大学(情報科学工学部)	工学部
4		厦門理工学院	工学部
5	モンゴル	モンゴル保健総合大学	医学部
6		国立モンゴル科学技術大学	工学部
7	大韓民国	忠北大学校(工学部)	工学部
8		高麗大学校(国際学部・国際大学院)	法文学部 人文社会学部 国際地域創造学部
9		培材大学校	教育学部
10	ベトナム	ベトナム国家農業大学	農学部
11	カンボジア	カンボジア工科大学	工学部
12	バングラデシュ	ラジシャヒ工科大学	工学部
13	インド	マダン・モハン・マラビヤ工科大学	工学部
14	スリランカ	ルフナ大学	農学部
15	米国	ボールステイト大学	法文学部
16	イラン	テヘラン大学	工学部
17	トルコ	バムツカレ大学	工学部
18	フランス	レンヌ第一大学(電子通信情報研究機関)	工学部
19	スペイン	バルセロナ自治大学(通訳翻訳学部)	法文学部
20	スウェーデン	ヨーテボリ大学(文学部)	法文学部 人文社会学部 国際地域創造学部
21	南アフリカ共和国	国立ケープタウン大学	医学部